

実施日：2月25日（3校時）	
教科等：社会科（公民的分野）	
取組名：「拉致問題」について学ぶ。	
対 象：3年2組	実施場所：教室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 「拉致問題」が人権課題の一つであることを理解させ、その重大性を認識させるとともに、人権を尊重し、人権課題の解決に向けて一人ひとりが関心をもち、考えることの大切さを認識させる。 冷戦後の国際社会における、民族や宗教を巡る対立、我が国と近隣諸国との間の領土をめぐる問題、「拉致問題」など様々な課題について理解する。 国際社会（近隣諸国）における課題の解決に向けて、国際協調の取組や、多くの人々が関心をもち、国家の利害に左右されない人権尊重の精神に基づいた人と人との関係を築くことが大切であるということに気付かせる。 	
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 拉致問題についての基本的な知識について学ぶ。 拉致問題の解決に向けて政府がどのように対策を講じてきたのかを知る。 拉致被害者や家族が受けた苦しみについて理解を深める。 拉致問題を解決するためには、一人ひとりが関心をもち、考え続けることが大切であることに気付く。 	
<p>ウ 連携先：家庭</p>	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <p>家庭内で拉致問題について話をする場面があった場合、今日学習したことをもとに広い視野でコミュニケーションが取れるようにする。</p>	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> 拉致問題対策本部の資料や、アニメ「めぐみ」を活用し、拉致問題が未だ解決されていない人権問題であることを確認する。 グループワークを通して、自らの意見を表現し、また他者の意見に触れることで、多様な意見が存在することに気づき、自らの考えをより深める。 	
<p>カ 評価の方法</p> <p>ワークシート</p>	
<p>キ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 拉致問題についてそもそも知らないという生徒も散見される状況で、改めて拉致問題についての歴史、動向について学ぶことができた。 拉致問題を解決する難しさに気づき、難しいから避けるのではなく、難しいからこそ考え続けなければいけないということに気付いた。 	
<p>ク 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 拉致問題について、その存在を知らない生徒が一定の割合でいたことから、拉致問題の風化が起きている可能性がある。我が国における重要な人権課題としての拉致問題について、さらに教育を進めていく必要がある。 拉致問題について今後も継続して興味をもち続け、拉致問題の解決のために、自分自身ができることを考え、実行できるかどうかを課題とする。 	